

大学共通コア科目でのレポートのルーブリック			
評価の観点	評価の尺度		
	十分に到達できている	一部は到達できている	かなりの努力を要する
課題把握・内容理解	課題の意図と内容を理解し、作成している。	課題の内容は理解しているが、意図の理解は不十分である。	課題の意図と内容を理解する必要がある。
論理構成	・序論・本論・結論に分け、相互の関連性が明確である。 ・接続詞を適切に用いながら、論理的に分かりやすく書かれている。	・序論・本論・結論に分けられているが、相互の関連性が不明確なところがある。 ・接続詞の用い方が不適切であり、文と文のつながりが分かりにくいところがある。	論理的な文章の書き方について、再学修が必要である。
考察力	・説得的な論拠・データを示しながら、的確な考察がなされている。	・説得的な論拠・データを示しておらず、考察が不十分なところがある。	考察の仕方について再学修が必要である。
体裁	・ワープロソフトを用いて作成している。 ・指定された字数で作成している。 ・文体が統一されている。 ・段落設定が適切になされている。	・ワープロソフトを用いて作成している。 ・指定された字数で作成している。 ・文体が統一されている。 ・段落設定が不十分である。	執筆要領を理解し、体裁について再学修が必要である。
日本語表現	・誤字脱字がない。 ・適切な語彙を用いている。 ・一文の長さが適度であり、分かりやすい文章になっている。	・誤字脱字が数か所ある。 ・不適切な語彙の使用が数か所ある。 ・一文が長すぎて、分かりにくい文章がある。	日本語表現法について再学修が必要である。
資料収集 出典・引用明示	・適切な資料を用いている。 ・出典・引用が正確に明示されている。	・資料を用いているが、関連性が不明確である。 ・出典・引用が正確に明示されている。	資料収集、出典・引用の明示について再学修が必要である。